

取扱説明書

ZETA アドベンチャー ウインドシールド

この度は ZETA 商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

組み付けされる前に、下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

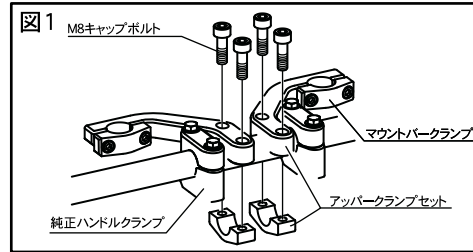
1.注意事項

・製品に対し、加工、改造を行わないでください。

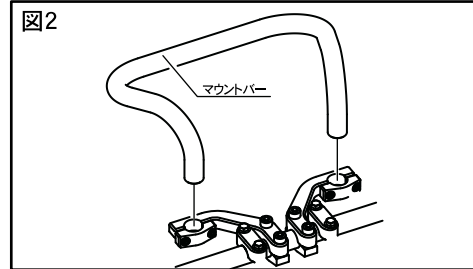
・既に車輛に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉し使用できない場合があります。

2.取り付け方法

- 1) 純正ハンドルクランプの内側に本製品のアッパークランプセットとマウントパークランプを仮組みします。(図1参照)
※既にアーマーガードが取り付けいて入る場合、アーマーガードマウント位置を微調整する場合があります。



- 2) アッパークランプにマウントバーを仮組みします。(図2参照)
※マウントバーが取り付け難い場合、アッパークランプの取り付けボルト、マウントパークランプのボルトを緩め取り付けてください。



- 3) ワイヤ、ブレーキホース等の取り回し見本図を参照し、アッパークランプの取り付け角度を調整してください。(図3参照)
※取り回しの変更、クラッチワイヤーが劣化している場合、レバーフィーリングが悪くなる可能性があります。ワイヤーをメンテナンス又は新品に交換することにより改善する場合があります。

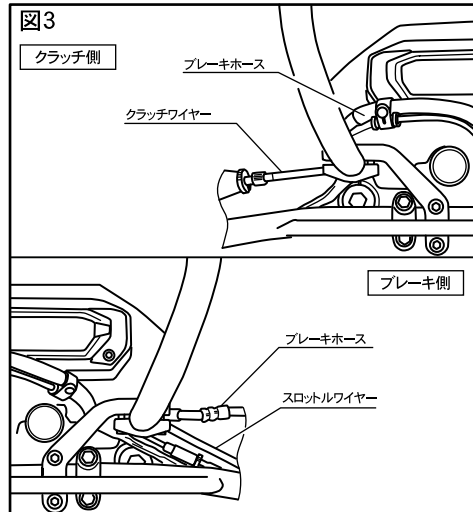
⚠【ご注意】

純正ハンドル、純正レバーポジションを取り付け基準としています。純正以外のハンドルを使用している、又はレバーポジションを変更している場合、ワイヤ類、ブレーキホース、バンジョーボルトに強く干渉し、取り付け又は操作に支障が出る場合があり、以下の調整が必要です。

- ・フロントブレーキバンジョーボルトの向きを調整
※必ずサービスマニュアルを参照しトルク管理をしてください。
※車輛により向きが変更できない場合があります。
- ・レバーポジションの角度、位置を調整
※レバーポジションに合わせワイヤーの取り回しを工夫してください。
- ・ハンドルの角度を調整

- 4) アッパークランプとマウントパークランプを本締めします。

- 5) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スロットルがスムーズに回転するか確認し、各ワイヤー、ホース類に負荷を与えてハンドル操作に支障がないか確認します。



- 6) マウントバーにスクリーンアダプター、スクリーンを取付けます。(図4参照)

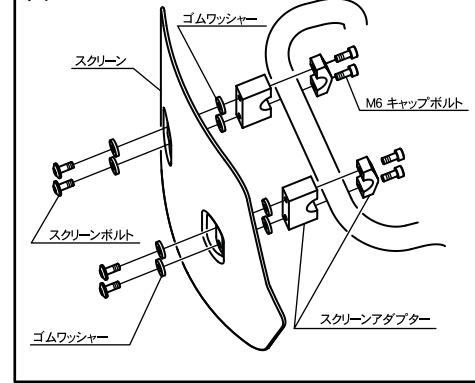
- 7) ハンドルをゆっくりと左右に切り、スクリーンが車両に干渉していないか確認してください。

- 8) スクリーンを取り付けるとハンドル操作フィーリングが変化します、必ず試走行をし、視界を確認及び各部のガタツキ、ボルトの締め忘れ等が無いか確認してください。

・スクリーンボルト等、定期的に緩みがないかを点検してください。

・ZETA アーマーガードシリーズ取付け可能。
※マウントタイプの種類により取付けができない場合があります。

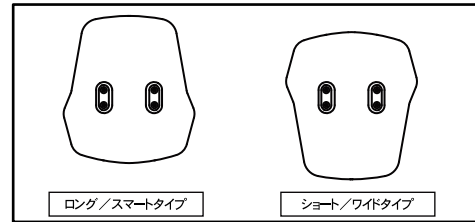
図4



3.スクリーンの仕様/注意事項

・2通りのデザイン

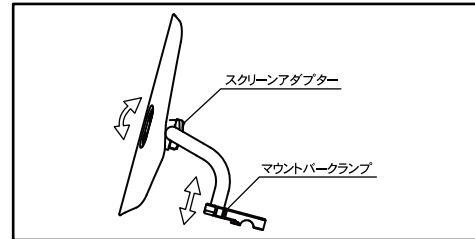
・使用状況、好みに合わせ2通りの取り付けが選択可能。



・角度/高さ調整

・スクリーンアダプターを緩めることにより簡単に角度を調整することができます。
※車輛により調整幅が異なります。

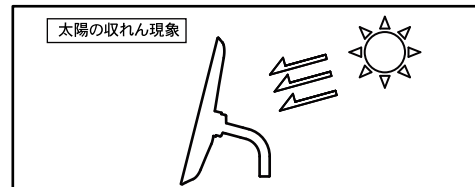
・マウントパークランプを緩めることにより簡単に高さを微調整することができます。
※ワイヤー、ブレーキホースに干渉し高さ調整ができない場合があります。
※車輛により調整幅が異なります。



・特記注意事項

⚠【ご注意】

スクリーン装着後、車体後方よりスクリーン部の内側に太陽光が直接あたる状態での駐停車は厳禁です。太陽光の収れん現象により発生した不具合や事故損害につきましてはいかなる場合でも当社では一切責任を負いません。



・メンテナンス

・スクリーンを洗浄する時は、表面を傷付けないように、水又は、ぬるま湯をかけながら、柔らかい布又はスポンジで拭いてください。

・破損や傷、劣化により視認性が悪くなった場合、速やかに交換してください。

リプレイスメントスクリーン: ZE70-1900

4.マウントバー

・スマートフォンホルダー、ナビホルダー等を取付ける場合、ブレーキホースの動きに干渉しない位置に取り付けてください。
※ブレーキホースの干渉より、機器を中央に取り付けられない車輛があります。

・マウントバーに機器を装着した場合、配線処理に付属のリリースタイラップ(2本付属)を利用してください。